

(対象事業：地域連携強化事業・地域文化資源整備活用事業・ミュージアム支援地域人材育成事業
・国際交流拠点形成事業)

事業名：アート・ルネサンス in はままつ

事業者名：アート・ルネサンス in はままつ

住所：静岡県浜松市中区松城町100-1 浜松市美術館

TEL：053-454-6801

FAX：053-454-6829

HPアドレス：<http://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/artmuse/index.htm>

連携事業者名：静岡文化芸術大学、静岡デザイン専門学校浜松校、笹田学園デザインテクノロジー専門学校、(財)平野美術館、浜松市立元城中学校、浜松市立中部中学校、浜松学芸高等学校、浜松田町東部繁栄会、ゆりのき通り浜松ショッピングセンター

事業期間：平成22年6月1日（火）～平成22年12月28日（火）

（展覧会会期：平成22年10月2日（土）～平成22年10月11日（月）



浜松市美術館

1. 館の使命と本事業の関係

(1) 館の使命

- 館内事業中心から館外事業を市民とともに展開することにより、アートを身近に親しむ機会をつくり、美術・文化の振興を図る。
- 未来を担う子どもたちに多様化するアートの楽しさを体感させ、教育普及活動の充実を図る。

(2) 本事業との関連

アートの持つ力を活かして人と人の出会いと交流の場をつくり、中心市街地の活性化を図る。

2. 企画内容

①事業目的

浜松市は、平成9年頃より、中心市街地の百貨店が次々と撤退、郊外への移転し、空洞化が進み久しい状況である。そこで、美術館が中心となり、市内の文化施設、教育機関や商店街との連携を図り、“街が美術館になる一週間”を合言葉に市民協働によるアート活動を通して多様化するアートの魅力を発信し、その楽しさを体感させるとともに中心市街地の活性化に貢献することを目的にする。また、中心市街地の商店主をこの事業に深く関わらせることにより、行政頼みの消極的な姿勢から自らが積極的に街づくりに取り組む姿勢を育てる機会とする。

②事業概要

静岡文化芸術大学、デザイン専門学校、地元アーティスト、地元商店、ギャラリー、画廊等との連携を図り、中心市街地と浜松城公園を活用したアート展を開催し、美術・文化の育成、振興を図るとともに中心市街地の活性化の一助とする。

- 中心市街地の商店ウィンドウや空き店舗を活用した街中アート展
- 浜松城公園での地元造形作家や学生たちの野外アート展の開催
- 子どもを対象としたワークショップ
- 浜松城公園石舞台での現代舞踏イベント

3. 事業実績

(1) 事業の主な内容及び日程

①実行委員会

開催日:平成22年5月25日、6月6日、7月30日、8月8日、8月21日、9月24日、
10月24日

②アート・ルネサンス展 in HAMAMATSU

I. 浜松城公園野外アート展

日時:平成22年10月2日(土)~10月11日(月) 10:00~16:00

会場:浜松城公園

公園中心部の芝生広場を中心に野外展示を実施。アーティストを中心に高等学校、デザイン専門学校、大学の学生、公園に隣接する小学校児童の共同制作作品など幅広いジャンルの作品14基を展示した。公園内に立体作品が展示されたことにより、公園がいつもと違う空間になり、公園利用者に好評であった。また、制作風景を市民が見ることができ、アーティストと市民の交流ができた。

II. 街中アート展

日時:平成22年10月2日(土)~10月11日(月) 10:00~18:00

会場:浜松市中心市街地商店街

中心市街地商店街(ゆりの木通り、肴町通り)の商店ウィンドウを利用したアート展。82箇所、148名の作家及び学生や子どもたちの作品を展示。美術作品が街に溶け込み、街全体がアートにふれる場として多くの市民に関心をもってもらうことができた。また、店舗と作家との交流もできた。

III. 浜松城公園石舞台ナイトイベント

日時:平成22年10月2日(土) 17:30~

会場:浜松城公園石舞台広場

公園内の自然石の舞台で、現代舞踏を中心にしたオープニングイベントを開催。身体を使った神秘的な踊りに戸惑う人もいたが新しいジャンルのアート表現を体感することができた。

IV. 子どもワークショップ

日時:平成22年10月3日(日)

13:30~15:30

会場:浜松城公園

小学生とその保護者を対象に公園内に展示された作品に触れたり、フロッタージュしたりしながらアートを楽しむ体験を行った。五感を使ってアートに親しむ機会として特に指先で触れる体験は造形への興味・関心を高めるものとなった。

V. マイムパフォーマンス

日時:平成22年10月3日(日)

15:00~

会場:浜松城公園

マイムアーティスト里見のぞみ氏によるマイムパフォーマンス。展示作品とのコラボレーションがみられ、一体感のある空間を楽しんでもらうことができた。



街中アート展の様子



野外アート展での子どもワークショップ

VI. パフォーマンスアート

日時：平成22年10月10日（日）18：00～

会場：浜松市立中部中学校

アーティスト山内清司氏と中部中学校の生徒が音楽に合わせて踊りながら運動場に敷かれたキャンバスにアクションペインティングを行い、芸術体験を共有した。参加した中学生は、自分の思いを踊りとペインティングを通して見事に表現してくれた。

(2) 参加者の数

参加者人数 延べ 14, 153人

内 訳：

観覧者総数 13, 700人

街中アート展観覧者	8, 368人	野外アート展観覧者	4, 930人
石舞台ナイトイベント観覧者	193人	パフォーマンスアート観覧者	153人
マイムパフォーマンス観覧者	56人		

参加者総数 375人

街中アート展参加者	148人	野外アート展参加者	55人
街中アート展参加店主	80人	石舞台ナイトイベント参加者	10人
パフォーマンスアート参加者	24人	マイムパフォーマンス参加者	1人
ワークショップアートラリー参加者	30人	ボランティア	27人

(3) 事業により作成した印刷物等

ポスター	B2	300部
チラシ	A4	2, 000部
出品リスト・マップ（手作り印刷物）	A4	3, 000部
報告カタログ	B5	280部

(4) 実施事業に関する新聞記事等

○新聞記事



中日新聞 平成22年10月3日（日）

静岡新聞 平成22年10月3日（日）



読売新聞 平成22年9月14日(火)

4. 事業の成果及び今後の課題 (参加者の意見を含む。)

浜松市中心部のセントラルパーク的な存在である浜松城公園及び中心市街地において、アートイベントを開催し、アート活動を1つのコミュニケーションの手段として、地域や街の活性化を図るとともにアートのもつ魅力や楽しさを多くの市民に体感してもらうことを目的とした。このアート活動も本年度2回目となり、街中アート展では、昨年度に比べ参加店舗が増えたことや画廊などとの連携を図り、様々なアート作品に触れる機会を拡げることができ、来年も参加をしたいという店主・作家は、80%以上であった。

また、野外アート展では、造形作家の作品だけでなく、小学校、高等学校、専門学校、大学の参加が見られ、プロの作品を鑑賞するという行為からアート活動というものが、身近なものとしてその新しい関わり方を提案することができたのではないかと考える。さらに中学生のパフォーマンスアートの参加も「もの」を通してのコミュニケーションだけでなく、行為そのものがアートであることを体感することができた点も大きな成果であった。

課題としては、①参加商店やアーティストは、昨年に比べ約2倍になり、積極的に関わる店主が増えてきたが、多くの店主は受身的で、意義があるかどうかの判断を“商品が売れたかどうか”“来店者が増えた”というような判断基準にしていることが伺える。また、アーティストの中には「作品が売れなかった」という意見があり、この事業の趣旨や目的を理解していないことが伺えた。回を重ね、継続することにより、この事業の趣旨を参加者が共通理解し、市民自らがアートを通して交流の場や元気な街づくりに取り組む事業へと発展させていきたいと思う。

②実行委員会も昨年の手探りの状況から少しずつ組織的な運営をすることができるようになってきた。さらに市民協働の事業へと発展させるため、各委員の役割分担を明確にした組織を再検討する必要がある。③学校との連携は大きな成果があった。小中高等学校や大学、専門学校との連携をさらに強め、子どもたちや若者のアート活動への取り組みを多くの市民や保護者に観てもらう手立てを工夫する必要がある。



ワークショップアートラリー

